

神田園火災発生時対応マニュアル

原則： 「煙」を吸わない・とにかく外（庭・ベランダ）に出る！

人員： 夜間帯はスタッフ2名、日中はスタッフ6名。

消防設備： 自動火災報知設備、火災通報装置、スプリンクラー、消火器

手順： 火元確認⇒初期消火⇒避難誘導⇒逃げ遅れ確認⇒報告

手順詳細：

① 警報機になったら、明らかに火や煙が見えてなければ、事務室の配電盤で

火元を確認する。



※火元が1階か2階かエレベーターホールか視認できる。

※夜間はフロアの照明をつける。

② 火元を発見したスタッフは、大声で「火事だ〜」と叫び、近くの消火器です

ぐに**初期消火**を開始する。その時に台所に排煙窓を開けられたら開ける。



- ③ 火災フロア以外のスタッフは自分のフロアから消火器を持って応援に行き
初期消火を手伝う。《消せる火なら初期消火に全力尽くす》
- ④ 消防車のサイレンが聞こえたら、玄関の鍵を開けに1階に戻る。
- ⑤ 火が天井に達したら、初期消火は終了。⇒避難誘導に全力を尽くす
- ⑥ 煙を吸わない事が最重要、煙が少なく最短で外（庭やベランダ）に出れる
経路を考える。

※歩ける人にはどこに逃げればよいのか指示し自主避難してもらう。

※スタッフは重度者や意思疎通が困難な方を毛布やシーツに包んで床を滑
らせて避難する。

※火元が洗濯室付近以外なら、裏の避難口から外に出るのが最短。

※居室や洗濯室で出火した場合、入り口の扉を閉めて火と煙を閉じ込める。

※逃げ遅れ確認は居室内に誰も居ない事を確認したら、居室入口をプラス
チックチェーンで封鎖し避難完了の印とする。



※確認は1度で済まさないスタッフも煙に巻かれ危険。

※避難時はエレベーターの使用は不可。

⑦ 「倉庫横のスペース」と「池の前」は一時避難場所とし点呼を取る。



その後、全員でポスト前まで移動する。《最終避難地点》



⑧ 消防隊が到着したら火元と逃げ遅れの状況を**報告**する。

「どこで」「だれが」とボードを見せながら説明すると分かりやすい。

平成25年8月23日

旭消防署 齊藤消防官立会いのもと作成